



須田っ子 第1号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・GA・DA

スタート須田小 (2019.4.8 入学式)



やっせい

校長 内山 晋

須田小学校は、平成31年度、16名の新一年生を迎え、全校91名、18名のスタッフ、そして、保護者と地域の皆様を強力な学校サポーターとして肩を組み、「子供の持ち味を最大限に生かす教育」に取り組みます。

「新」は「木を切る(こ)う」
「新」という漢字は、「斧で伐る木」の新しい切り口のみずみずしさから「今までにない状況を生み出す」という意味になったそうです。

新学期、須田小の子供たちが、新しい自分を生み出すことができるよう、次のことを指導します。

◆「分かりません」「教えてください」「ありがとうございます」の三つの言葉で、周りの人と力を合わせる。

◆近くにいつでも本を持ちましょう。本の中には様々な人がいます。前に読んだ本でも、二度目は違う発見ができます。

◆時間どろぼうに負けない。十分間でもスキマ時間を見つけて、家庭学習・家庭読書・絵を描く・音楽を聴

く・趣味を楽しむ等、時間を上手に楽しみながら使いましょう。

◆新しいノートを用意しましょう。毎日すること・したことを書いていく。自分の頑張りが見えてわかります。自分の頑張りやもつと工夫できることを見付けることができます。

知る・好む・楽しむ

今から約二千五百年前を生きた孔子先生から、今年の須田小学校にぴったりの言葉を頂戴しました。それが、「知る・好む・楽しむ」です。

新しいことが「分かった」と知り喜び、「面白いな」と好きになり、楽しみながら学び続けることこそ、「主体的な学び」です。孔子先生は、「知る・好む・楽しむ」の順番で学ぶ姿を思われたと思います。でも、子供は十人十色です。様々な順番で取り組みます。例えば、「楽しむ」内に「好き」になり、「知る」とつながる子供もいると思います。

何よりも「やりぬく」ことが大事です。

笑顔で・信じる・諦めない